

クマノツツーリズム

by 翁 & 媪

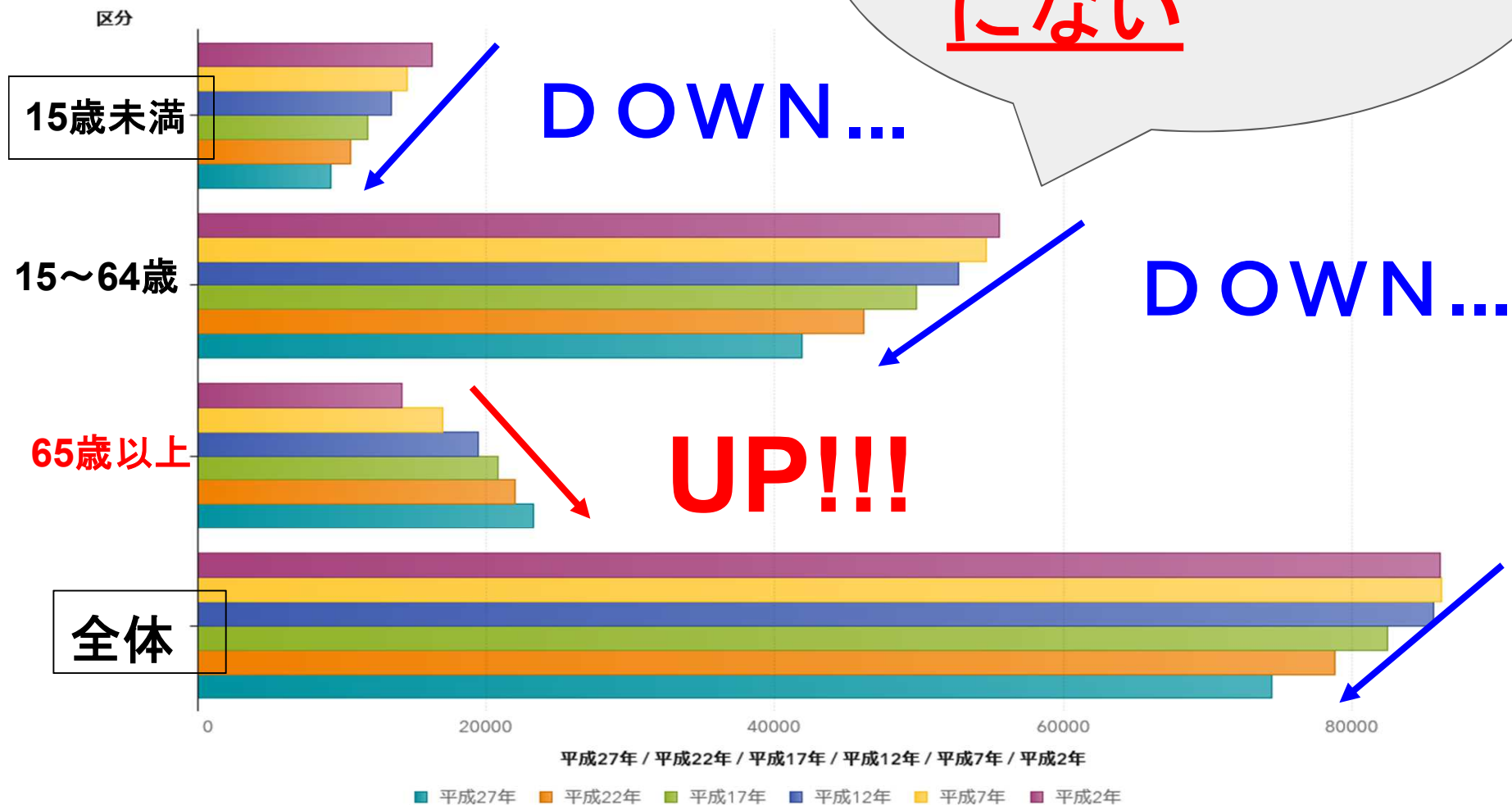
To the Summit

和歌山県立田辺高等学校

田辺市 の年齢別人口区分

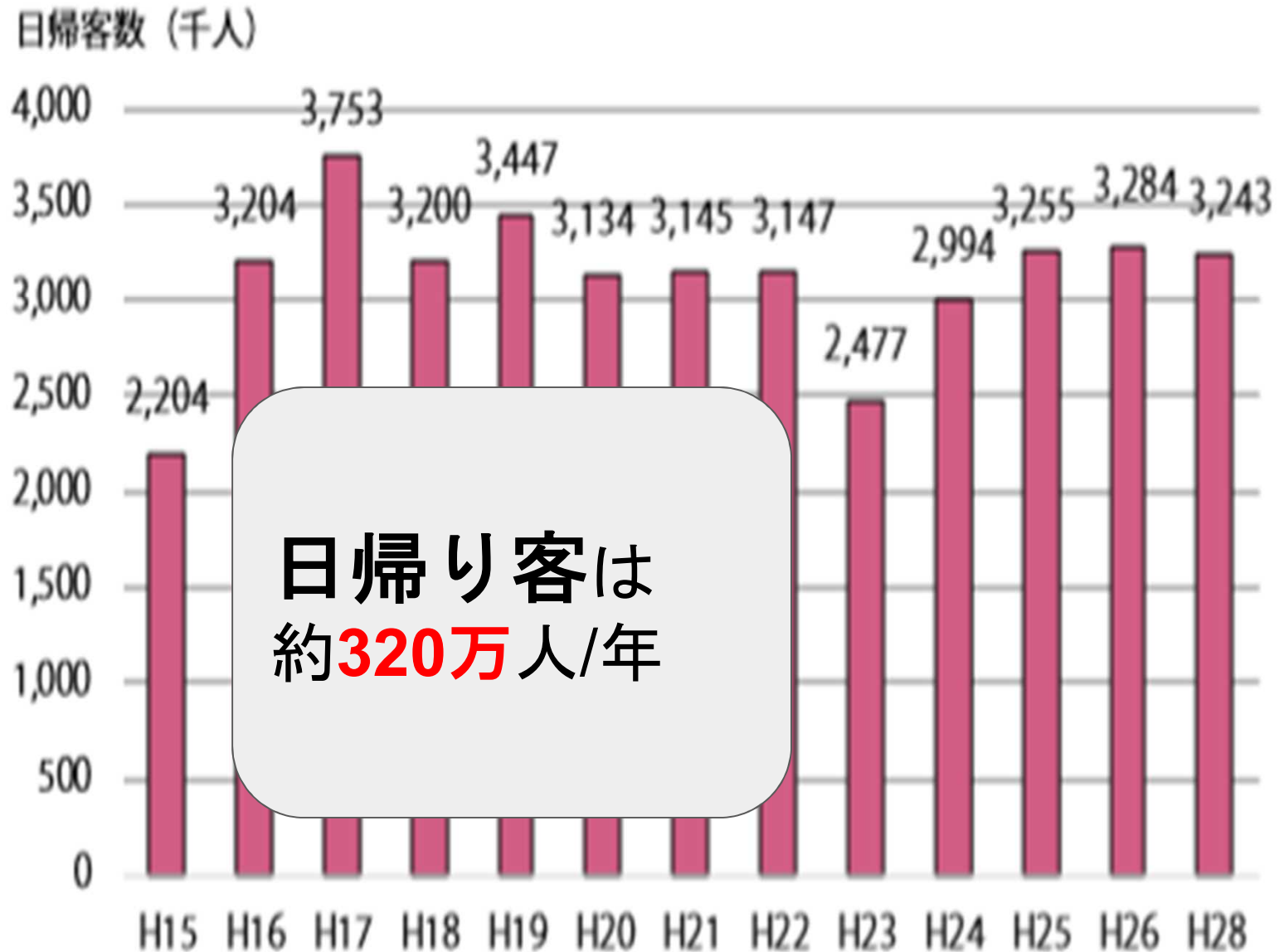
平成2年～27年（5年刻み）

少子高齢化は
避けられそう
にない



グラフ SASソフトウェアを用いて作成

日帰り観光客と宿泊客の差は、、、

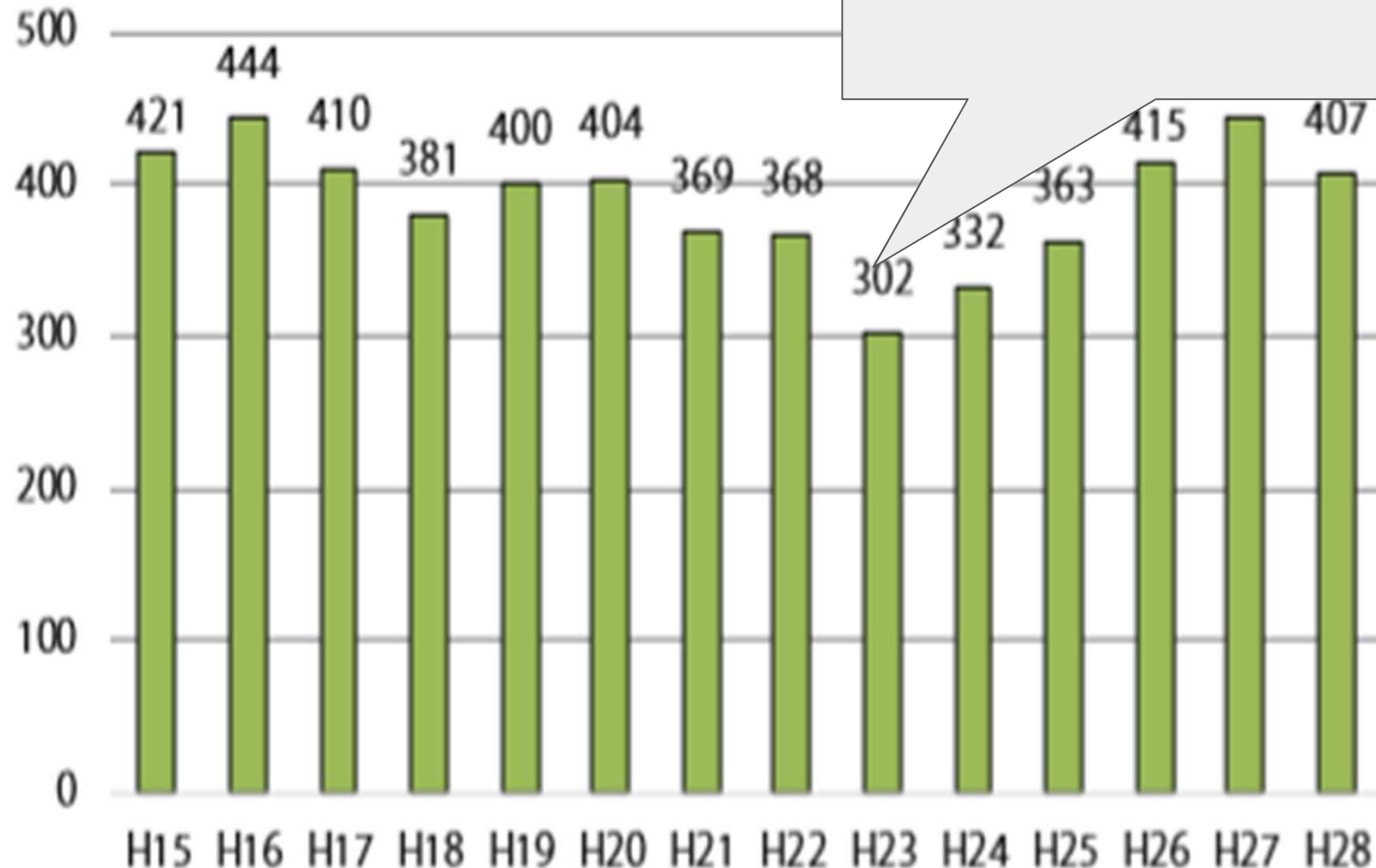


出典 田辺市世界遺産等を活かした魅力あるまちづくり基本計画 (案)

一方

宿泊客はというと

宿泊客数（千人）



僅か約40万人/年
日帰り客の
8分の1

出典 田辺市世界遺産等を活かした魅力あるまちづくり基本計画（案）

じゃあ

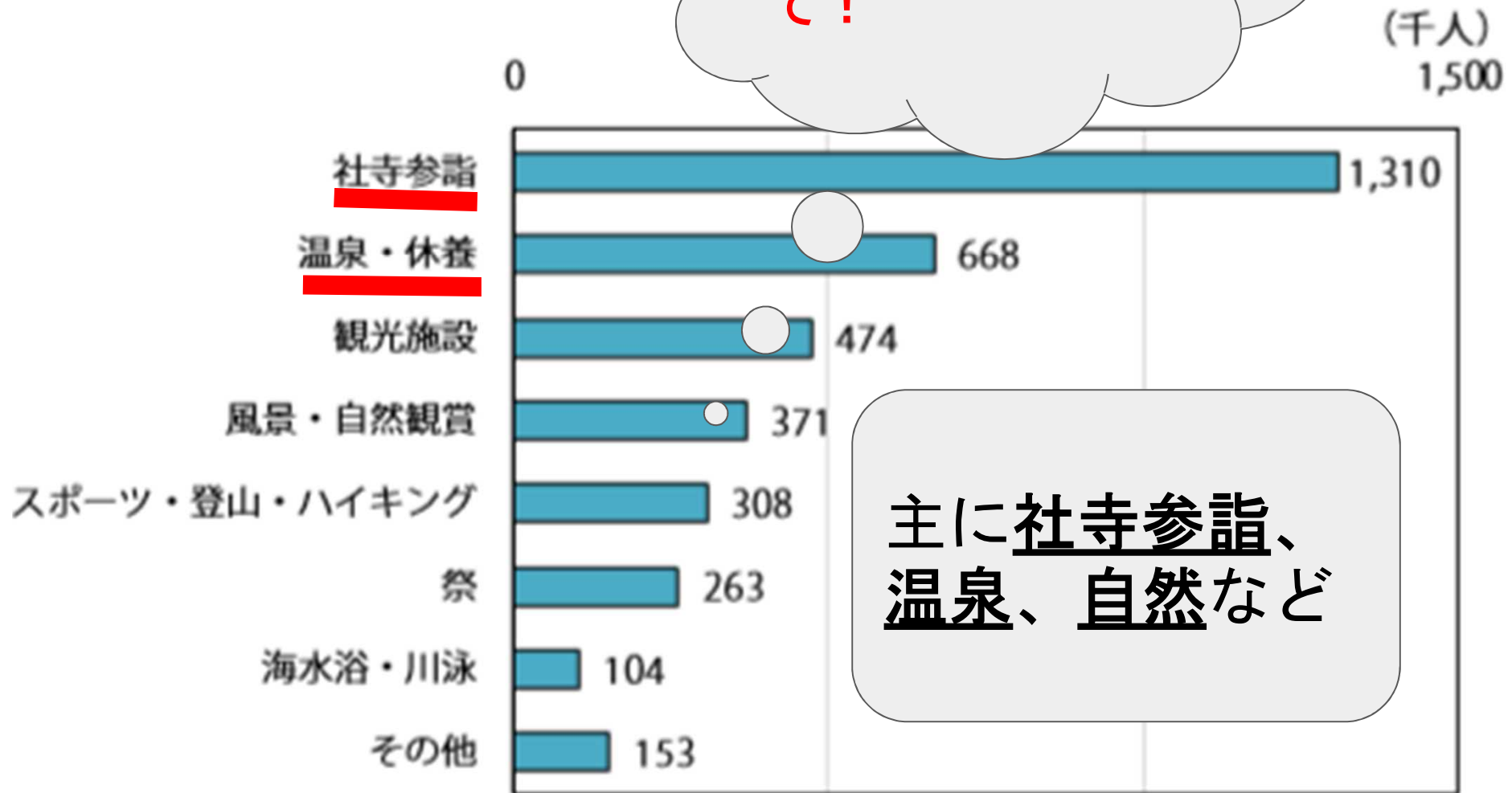
何をお目当てに

訪れてるの??

田辺市来訪の目的

各地域の特色ある資源への来訪

田辺市オリジナルの資源めがけて！



出典 田辺市世界遺産等を活かした魅力あるまちづくり基本計画（案）

さらに

外国人を

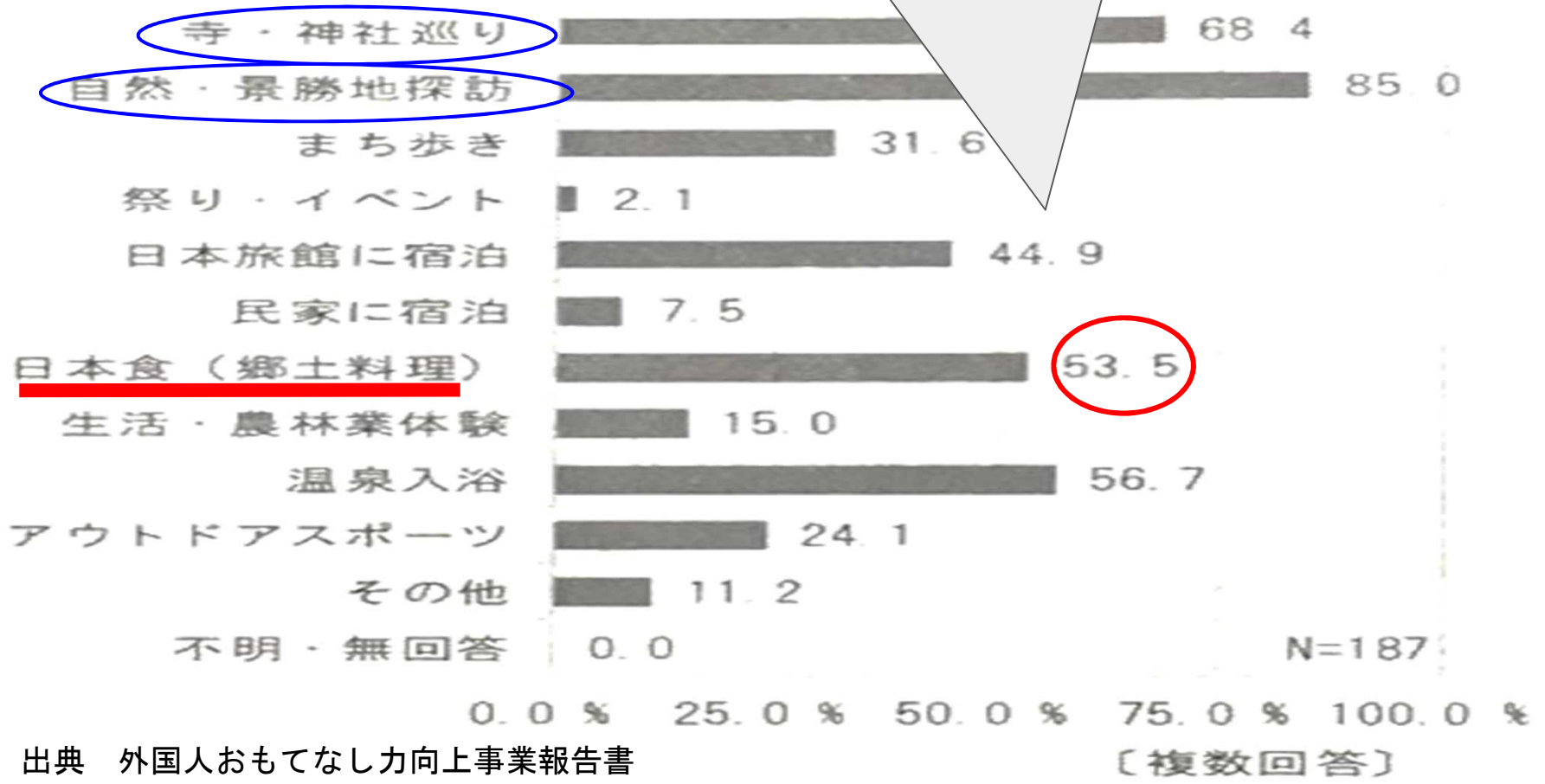
見てみると、、、

外国人の熊野訪問の目的

寺社や自然
だけでなく

外国人は
地域に根付いた料理
を欲している

<熊野を訪



分かったこと

- ・ 全国的に少子高齢化、他地域からの移住は期待できない
- ・ 宿泊客が日帰り客に比べて著しく少ない。
- ・ 寺社、温泉・自然、郷土料理を目当てに来る人が多い。



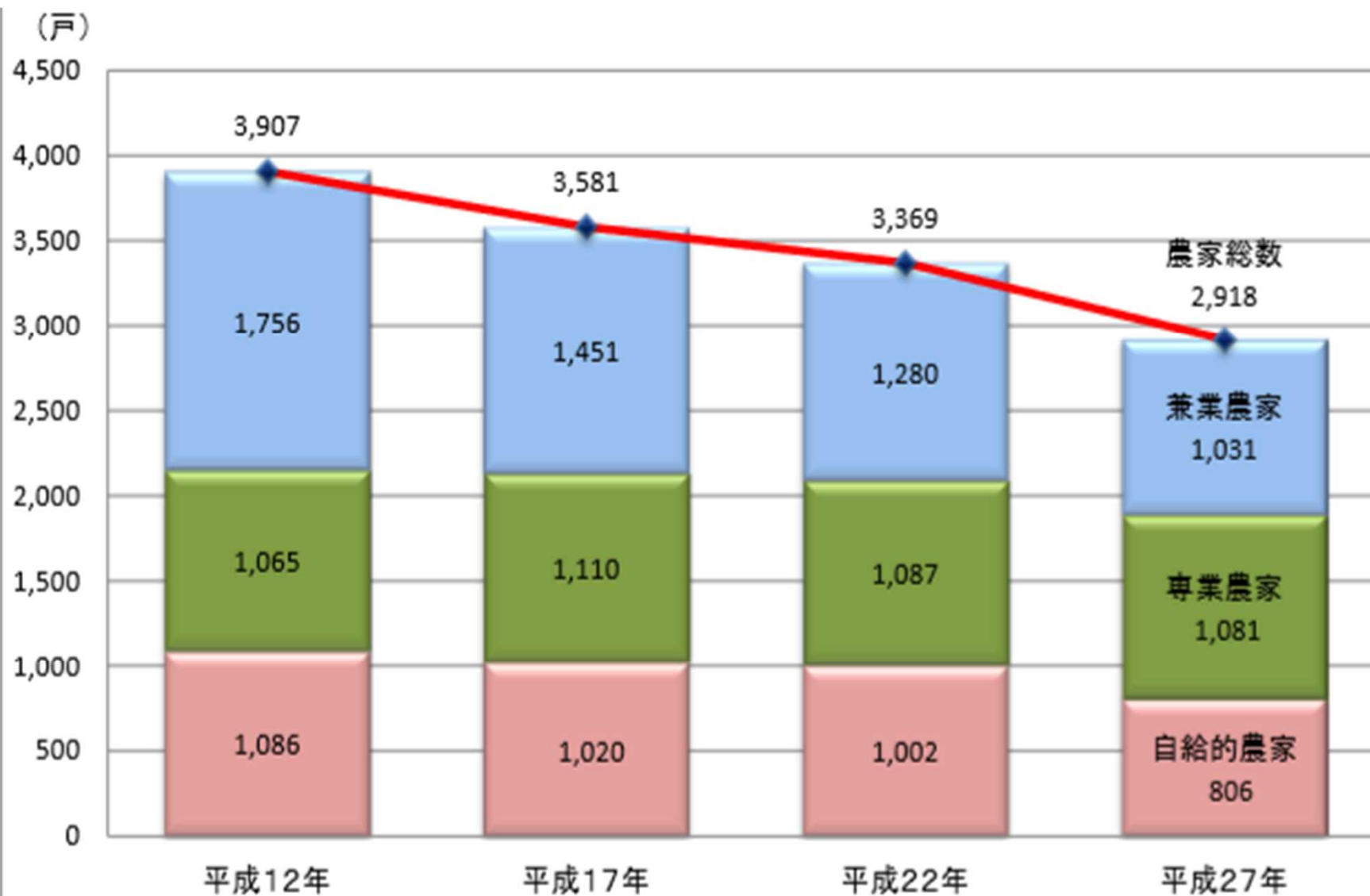
写真 和歌山県HPより

また、
田辺市の農林業に
着目すると、



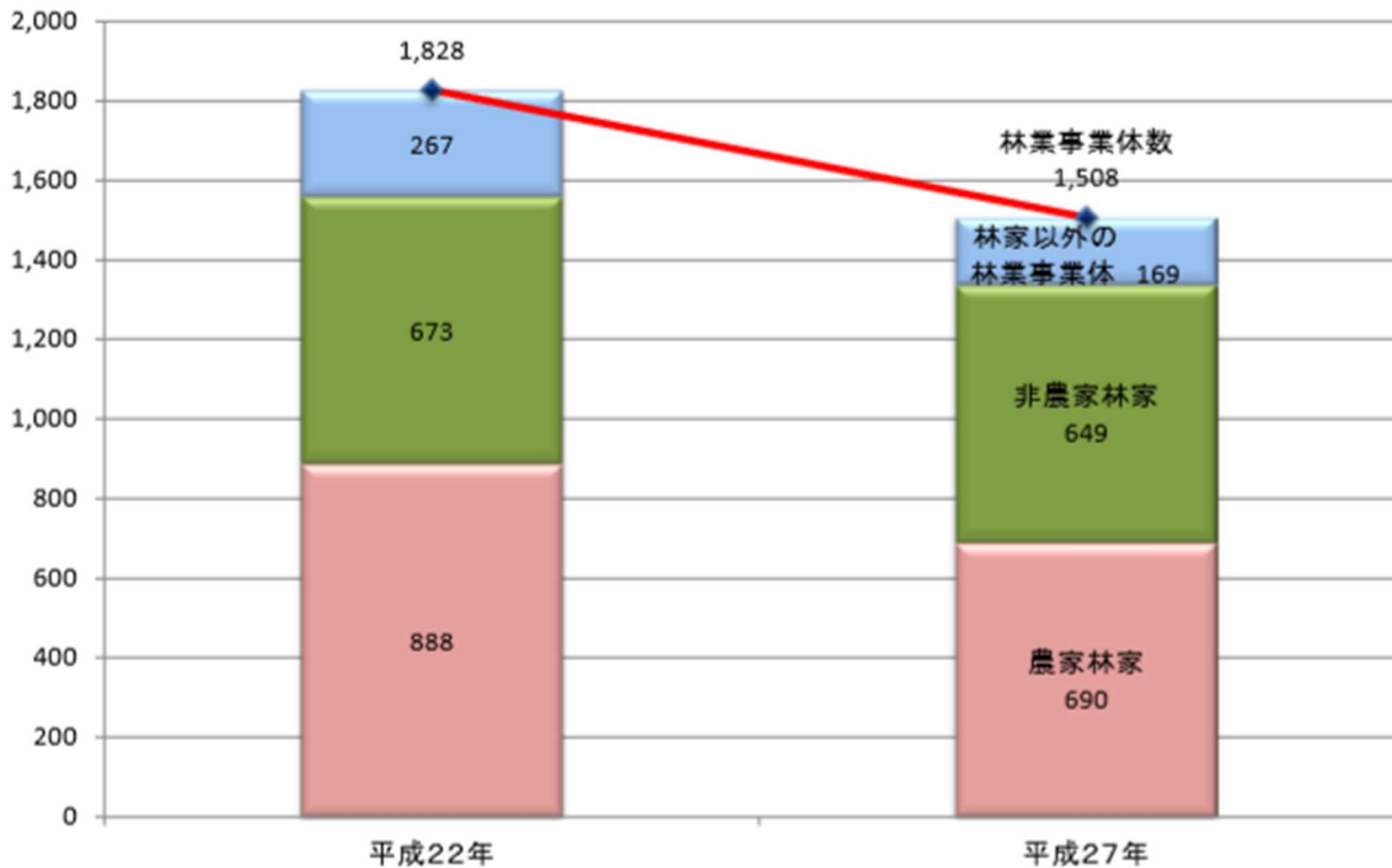
写真 和歌山県HPより

農家数の推移



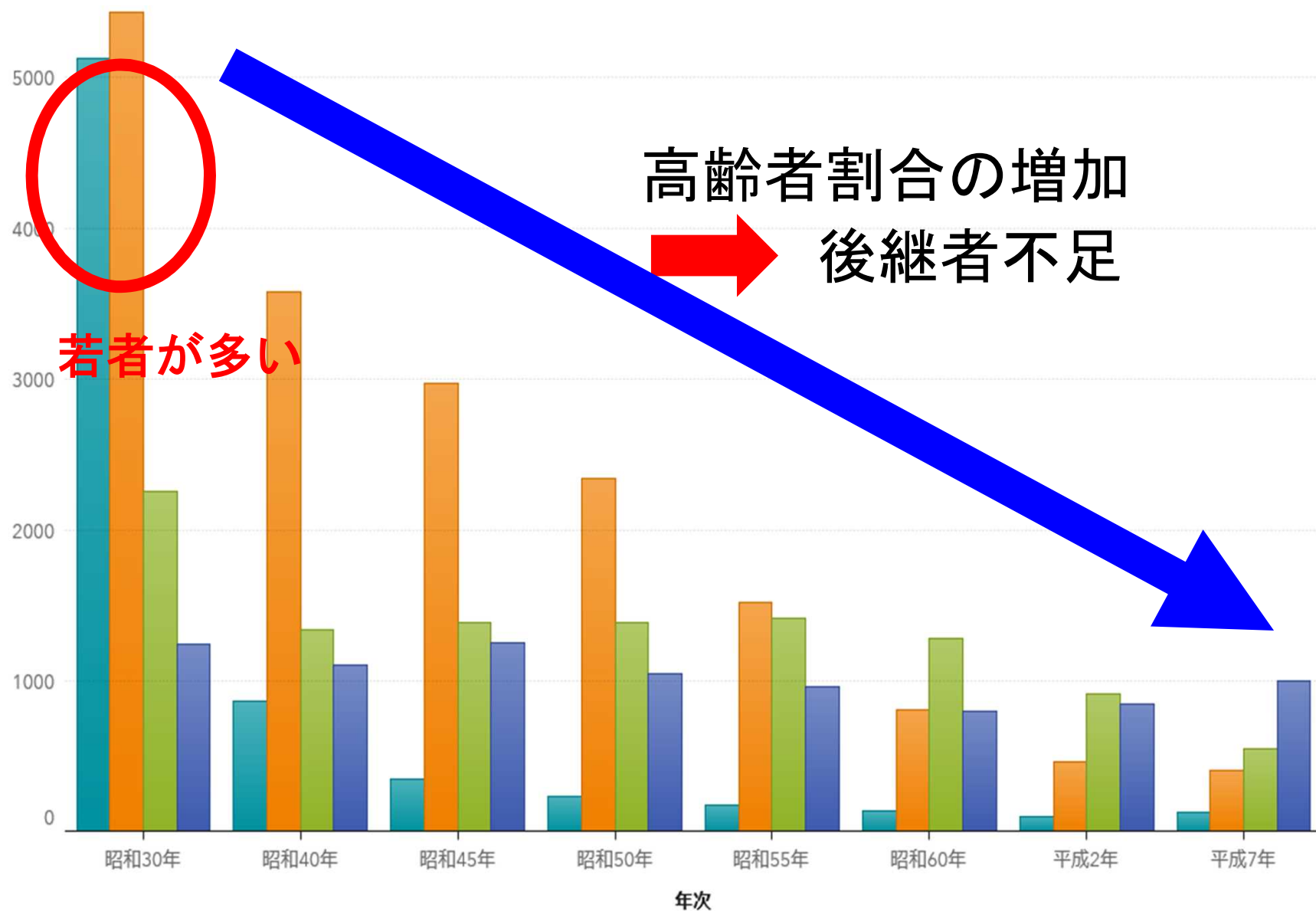
※各年2月1日現在(農林業センサス)

林業事業体数の推移



※各年2月1日現在(農林業センサス)

年齢階層別林業就業者の推移



■ 15-29歳 ■ 30-49歳 ■ 50-59歳 ■ 60歳以上

グラフ SASソフトウェアを用いて作成

H 2 7 林野面積に占める私有林野の割合

80.7% (全国平均58%)


7. 所有形態別林野面積

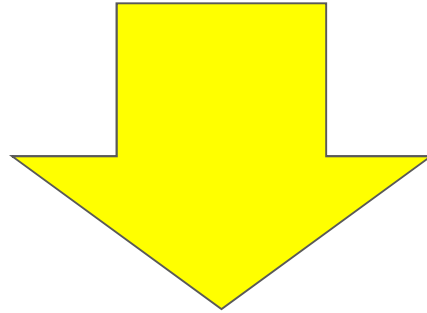
単位:ha

区 分	林野面積	現況森林面積	森林以外の 草生地	国有林野	公有林野 (独立行政法人等含む)	私有林野
平成17年	91,195	91,184	11	7,345	11,356	72,494
平成22年	91,645	91,634	11	7,328	8,605	75,712
平成27年	90,328	90,317	11	7,327	10,146	72,855

※各年2月1日現在

資料:農林業センサス

広大な私有林野  後継者不足

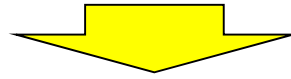


この恵まれた森林資源の有効活用は
できないだろうか



グリーンツーリズム

熊野古道の観光客のニーズ



現地体験

景色景観・
参拝

郷土料理

農林業体験

より満足度を高めるコンテンツとしての...

民泊グリーンツーリズム

地元の高齢者たちに活躍してもらおう場として



地域の産業課題への切り口

紀州ヒノキ材を使った 和歌山県の伝統工芸品

みなちがさ
皆地笠



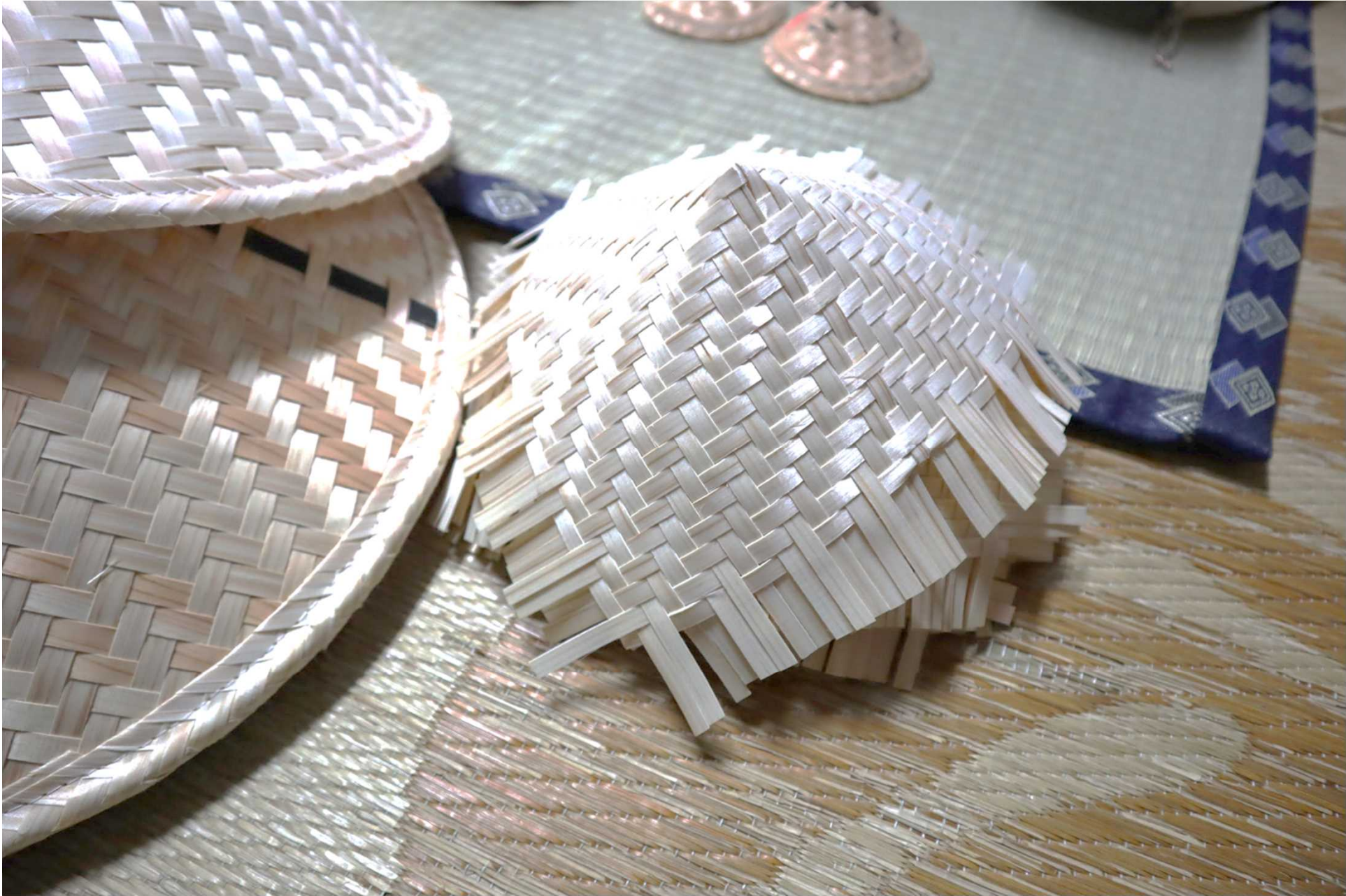
唯一の皆地笠職人の方にお話を伺いました



皆地笠の魅力

- ・ 日よけに万能
- ・ 梅雨の時期は湿気を吸い取ったヒノキの素材が膨張して網目の隙間が狭まり、雨を通さない
- ・ 夏の乾燥した時期は、素材が収縮して網目の隙間が空いて風通しがよくなる。
- ・ 非常に軽く、丈夫である
- ・ 美しくオシャレ、である。
- ・ ヒノキの香り
- ・ 千二百年の歴史

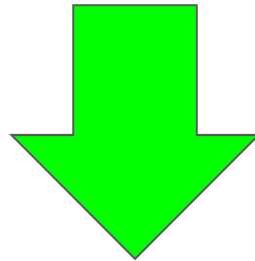






お話を伺って

- 皆地笠の職人技を習得するには二、三十年かかる。
- 過去に製作工程を教えたことがあったが、宮大工でも、習得が困難で、上手くいかずに失敗した。

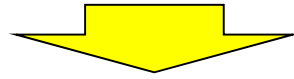


人によるアナログな伝承が困難ならば、
数値化や機械化によるデジタルな伝承は
できないか？

千二百年もの歴史を持ち、
外国人観光客にも大人気の皆地笠

皆地笠をかぶって、
熊野古道を歩いてもらいたい！！

熊野古道の観光客のニーズ



現地体験

景色景観・
参拝

郷土料理

+皆地笠

農林業体験

より満足度を高めるコンテンツとしての...

民泊グリーンツーリズム

地元の高齢者たちに活躍してもらおう場として



地域の産業課題への切り口

観光客

- ・ 伝統工芸に触れられる
- ・ 郷土料理を味わえる
- ・ 大自然の中でリフレッシュ！

ハリと
生きがい

クマノ
ツーリズム

地元の高齢者

- ・ 観光客らとの交流
- ・ 若者らとの仕事
- ・ 農林業の後継者獲得

伝統工芸品

- ・ 後継者獲得のチャンス
- ・ 他地域、海外の人々へPRできる